

第 36 回 ツール・ド・おきなわ 2024 参加サイクリストの皆様へ

第 36 回 ツール・ド・おきなわ大会にご参加頂き誠にありがとうございました。
大雨警報等により一部サイクリング部門を除く、全ての種目が中止となりました。
来年も皆様とお会いできることを心より願っております。
つきましては、大会期間中のレポートを下記にて記載をいたしました。

○11月9日（土）未明・大雨警報・洪水警報・避難警報が発令される

11月9日未明よりの豪雨により、大雨警報・洪水警報・避難警報等の発令があり、河川氾濫、土砂崩れ等にて、国道・県道の通行止めという事態となりました。

苦渋の決断

大会実行委員長・レースディレクターにて早朝よりコースチェックの結果、06時、開催予定の全てのサイクリング部門の中止を決定いたしました。2日間にわたる沖縄本島一周サイクリングと伊平屋島サイクリングについては、天候回復を見込み翌10日の実施に向け、初日宿泊施設及び2日目スタート地点への移動を行いました。

10時よりレース部門の実施競技会議を開催。

参加者：大会実行委員長・国際レース部門審判団代表、市民レース部門審判団代表、事務局

国道・県道の通行止めについて道路管理者へ状況確認を行った結果、復旧のめどはたっていないことを確認。このため、200キロ部門・140キロ部門・100キロ部門については、当初のコース・距離での開催中止を決定いたしました。

翌10日の状況が不確定の中、上記部門の完全中止ではなく本部半島をまわる50キロに短縮してでも実施したいとの意見が相次ぎ、スタート時間調整の結果、全てのレースの開催を決定いたしました。14:30からのUCIチャンピオンレース監督会議にて状況の説明を行うとともに、20時からの審判会議にて事故等のアクシデント回避の議論と同時に各審判のシミュレーションを個々のレース部門ごとに慎重に審議頂き、全員により開催へ向け準備を開始いたしました。

○11月10日（日） ツール・ド・おきなわ大会初の当日レース部門中止を決定する

雨天の中レース競技開始へ向け準備を行い、2000人の選手たちをスタート地点にて出迎え一同安堵。06時45分スタート号砲にてチャンピオンレースが出走。直後の06時48分、

先行するコースチェッカーより実行委員長へ緊急連絡が入る。レースが佳境にはいる勝負所の36キロ地点にて冠水発生。現在10センチから20センチであるが増水が続き、広範囲に広がっており、一般車両も通行不可。よって競技中止の進言。送られた映像を大会会長、実行委員長、競技本部で確認。07時、実行委員長にて競技継続困難と判断した状況を説明の上、中止決定を伝える。

サイクリング部門では2種目実施され、沖縄本島一周サイクリング2日目は中南部をまわるコースを実施、伊平屋サイクリング2日目も無事開催され、13時から16時30分までに全員がゴールいたしました。

スタッフにて出迎え、多くの笑顔に出会えました事に感謝です。

日本一決定戦は来年に持ち越しとなりましたが、第37回のツール・ド・おきなわで多くのサイクリストの皆様と共に開催できますことを祈念いたしております。